

機関番号：12601

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19730266

研究課題名（和文）日系多国籍企業の国際戦略と組織変革に関する研究

研究課題名（英文） International Strategy of Japanese Firms and Organizational Change

研究代表者 天野倫文（AMANO TOMOFUMI）

東京大学・大学院経済学研究科・准教授

研究者番号：40339205

研究成果の概要（和文）：

近年の国際的な環境変化の中で、日系多国籍企業も大幅にグローバル化を進めてきた。本研究では、彼らが国際戦略を遂行する過程でどのように組織変革が進めてきたかという点について、海外現地法人レベルと事業レベルで体系的に収集された一次データや二次データに依拠しながら、ケース分析を進め、いくつかケース論文を作成した。また、それらにもとづいて幾つか理論的な視点も提示してきた。

研究成果の概要（英文）：

In the recent change of international business environments, Japanese multinationals have accelerated their pace of globalization. This research examined the process of their international strategies and organizational changes based on the original and secondary data systematically collected at the level of foreign subsidiaries and at the level of business units. This research created several case study oriented papers and some theoretical perspectives in the international business strategy, from the results of these empirical researches.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	800,000	0	800,000
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
2009年度	800,000	240,000	1,040,000
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
総計	3,200,000	720,000	3,920,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：グローバル戦略、国際経営、海外現地法人、組織統合、組織変革、オペレーション、新興国市場、アジア・中国

## 1. 研究開始当初の背景

21世紀に入り、経済のグローバル化は急速に進み、新興国の台頭も顕著である。そのような中、企業がグローバル戦略や国際化戦略の遂行プロセスにおいて、多国籍化し、複雑化する組織を、どのように統合・変革するか、どのように組織能力を発達させるかという

点が、企業の競争力の維持・強化にはますます欠かせなくなっている。

国際戦略と組織変化に関する視点は従来から存在するが、これらの点について、ローカルレベルとグローバルレベルの両方をきちんと見据えながら、多国籍企業組織の変革プロセスを具体的に分析した研究は決して

多くはない。また、近年の新興国市場台頭の中での組織変革に関する問題は、従来とは異なる研究視点も必要であり、こうした問題については、ビジネス上の環境変化に合わせて事例研究を丹念に作成し、蓄積していく必要がある。

本研究では、我が国の代表的な産業における企業が、多国籍化やグローバル化のプロセスにおいて、海外現地法人のレベルや、多国籍組織のネットワークのレベルにおいて、どのように組織能力を構築し、組織統合を図ってきたか、それらがローカルレベルとグローバルレベルの競争力においてどのような意味を持ったのか、といった諸点について、多面的に実証研究を進めてきた。

## 2. 研究の目的

多くの企業の社史やケースは本社の視点から描かれることが多い。しかし多国籍化プロセスや国際化プロセスにおける組織変革の内実については、海外市場での現地法人レベルにおける具体的、かつ体系的なデータの取得が必要であり、それらをベースとしながら、本社レベルのデータを併用していくことが求められる。しかし、多くの場合、これらのデータは公開されておらず、両方のレベルにおいて、企業側の協力をとりながら、体系的なフィールド調査、記録資料の収集、オーラルヒストリーなどを進めていく必要がある。これらの一次データを用いた分析結果については、第一義的には、ビジネスケース、ないしはケースにもとづく論文としてまとめていくことが望ましい。それらのケースから新しい理論的視点を導出できるかどうか、検討が必要である。またデータの性格上、公表に適さない情報やデータも、年数とともに、散逸しやすいことを考えると、それらのデータや資料を適切なかたちで保管・整理しておくことが求められる。

## 3. 研究の方法

アプローチとしては、企業レベルないしは産業レベルの事例研究が中心となるため、業界をある程度限定して、調査研究を行う必要がある。本研究では、過去の研究とのつながりから、電機・電子デバイス、自動車・二輪産業、化学産業、小売業などの分野を対象とすることにした。これらの業界における代表的企業について、とくにアジア地域を中心に、海外現地法人への体系的なフィールド調査、本社側での事業担当者へのヒアリング、当該ビジネスのキーパーソンのオーラルヒストリーの作成、海外現地法人レベルでの記録資料の収集・分析などを行った。事例研究の知見をもとに海外現地法人への量的データの収集も行った。

## 4. 研究成果

上述の方法にもとづき、公表可能性のある産業・企業の領域については、ビジネスケースやケース論文を作成してきた。またそれらに依拠して、グローバル戦略や国際化戦略、組織能力、組織統合などに関係する理論的な論文についても作成を進め、公表を行ってきた。また個人のオーラルヒストリー、現地法人レベルの非公開資料など、公表に適さない資料についても、収集・整理を行い、内部資料として保管した。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計8件)

天野倫文・藤原雅俊「インドプリンタ市場のフィールドスタディ」『赤門マネジメントレビュー』第10巻2号, 2011年.

田路則子・天野倫文「積水化学工業：合わせガラス用中間膜事業の創造と成長戦略」『一橋ビジネスレビュー』第58巻2号, 2010年.

天野倫文・新宅純二郎「ホンダ二輪事業のASEAN戦略：低価格モデルの投入と製品戦略の革新」『赤門マネジメントレビュー』第9巻11号, 2010年.

天野倫文・高婷「日系小売企業の中国市場展開とマーチャндаイジング能力の形成—北京進出小売業のケーススタディ」『赤門マネジメントレビュー』第9巻3号, 2010年.

新宅純二郎・天野倫文「新興国市場戦略論—市場・資源戦略の転換」『経済学論集』第75巻第3号, 2009年.

天野倫文・中川功一・大木清弘「グローバル戦略の組織統合と経営革新—HDD産業に見る経営改革の比較」『一橋ビジネスレビュー』第56巻第2号, 2008年.

藤本隆宏・天野倫文・新宅純二郎「アーキテクチャにもとづく比較優位と国際分業—ものづくりの観点からの多国籍企業論の再検討」『組織科学』第40巻第4号, 2007年.

Amano, Tomofumi, Competitive strategy of Japanese and US multinationals in global production networks and clusters: the case of the HDD industry, Prema-chandra Athukorala eds., *The Rise of Asia: Trade and Investment*, Routledge, 2010.

〔学会発表〕(計6件)

天野倫文「新興国市場戦略の諸観点と国際経営戦略」国際ビジネス研究学会第16回全国大会, 2009年10月24日, 横浜国立大学

天野倫文「中国市場開放期の経済政策と日本

企業の直接投資 - 新たな日中互惠関係の探索」復旦大学日本研究センター第 19 回国際シンポジウム「中国経済のモデルチェンジと中日経済関係の新しい課題」、2009 年 10 月 31 日 - 11 月 1 日.

Shintaku, Junjiro and Tomofumi Amano, Emerging Market Strategy of Japanese Firms: The Case Study of Motorcycle Business in Asia, Global Strategy Conference, International University, Tokyo, Japan, 2010.

Shintaku, Junjiro and Tomofumi Amano, Emerging Market Strategy of Japanese Firms-Reshaping the Strategies in the Growing Markets, The 8th Northeast Asia Management and Economics Joint Conference, Global Economic Crisis and the Northeast Asian Cooperation, Kyungpook National University, Korea, 2009.

Amano, Tomofumi, Competitive Strategies of Japanese/U.S. Multinationals in Global Production Networks and Clusters: The Case of Hard Disc Drive (HDD) Industry, The Ninth Global Development Conference, 2008 ANU Research Workshop: Emerging Trends and Patterns of Trade and Investment in Asia, Australian National University, Brisbane, Australia, 2008.

Amano, Tomofumi "Learning the Way of Capability Building from the Case of Toyota Motor Thailand," JBIC-LPEM International Workshop on Competitiveness in Indonesian Manufacturing, JBIC Partnership Forum in Asia, November 3-4, 2008, Jakarta, Indonesia

〔図書〕(計 2 件)

新宅純二郎・天野倫文編著『ものづくりの国際経営戦略—アジアの産業地理学』有斐閣, 2009 年.

井上隆一郎・天野倫文・九門崇編著『アジア国際分業における日台アライアンス—ケーススタディによる検証』交流協会, 2008 年.

〔産業財産権〕

とくになし

〔その他〕

とくになし

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

天野倫文 (AMANO Tomofumi)

東京大学・大学院経済学研究科・准教授  
研究者番号: 40339205

### (2) 研究分担者

とくになし

### (3) 連携研究者

とくになし